

1. 授業の概要(ねらい)

文化と心の関係へのさまざまなアプローチを身につける。心が文化をつくり、逆に文化が心をつくることを学ぶ。文化心理学の基礎、および日本文化とアメリカ文化の比較について解説する。

2. 授業の到達目標

- ①さまざまな社会現象を「文化と心の関係」として読み解き、文化を研究する視点を獲得する。
- ②心の文化差の仕組みについて修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクション・ペーパー(30%)、小テスト(20%)、期末試験(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。
日常生活の中に「文化」を見出す努力をすること。

6. その他履修上の注意事項

文化心理学Ⅱと併せて履修することが望ましいが、文化心理学Ⅰのみの受講も可能である。
「文化」という言葉を聞いただけで「難しそう」と考えないように。文化は日常生活のなかにもあることを認識してほしい。
授業中に配布したプリントはファイルしておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 文化の相違
- 【第3回】 文化心理学とは何か
- 【第4回】 文化と意味
- 【第5回】 自己高揚傾向と自己卑下傾向
- 【第6回】 日本文化とアメリカ文化の比較(1)日本語と英語
- 【第7回】 日本文化とアメリカ文化の比較(2)自己観
- 【第8回】 まとめと小テスト
- 【第9回】 日本文化とアメリカ文化の比較(3)異文化接触
- 【第10回】 日本文化とアメリカ文化の比較(4)異文化交流
- 【第11回】 日本文化とアメリカ文化の比較(5)異文化接触
- 【第12回】 日本文化とアメリカ文化の比較(6)文化と動機
- 【第13回】 日本文化とアメリカ文化の比較(7)エンティティセオリーとインクリメンタルセオリー
- 【第14回】 日本文化とアメリカ文化の比較(8)平等と不平等
- 【第15回】 まとめと試験